

#1 盆踊りの東部！ 芸ごと満載の西部！ Let's BON FES!!!

我々NPO劇研が関わる左京東部いきいき市民活動センターと左京西部いきいき市民活動センター。双方で約20年ぶりに夏祭りが復活し、現在も規模を拡大しながら毎年開催しています。今回は2つのお祭りの特徴について紹介します。

盆踊りの東部！ 復活！錦林盆踊り大会2019



復活初年度から、志賀國天寿さんによる音頭と、盆踊りバンド・サンポーヨシの演奏によるセッションを中心に生演奏で盆踊りを開催してきました。

天寿さんの音頭の上手さ、サンポーヨシのお囃子のノリやすいリズム、広すぎず狭すぎないちょうど良い会場の広さも相まって、盆オドラーなどと呼ばれる盆踊り愛好家の方々にもなかなかの評判です。

また自治会の出店も、地域の名物(ホルモンの天ぷらやレバーのフライ)が並び、こちらも評判です。



芸ごと満載の西部！ ようせい夏まつり2019

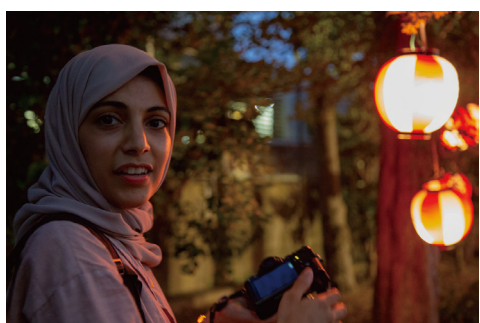


出町柳駅から歩いてすぐ“希望の広場”で開催しています。2017年に復活し今年で3年目。地域の団体や、センター周辺のお店で実行委員に加わる人も増え、規模を少しずつ大きくしています。

地域の方と話をしていると、「前々から、子供の時に楽しかった盆踊りを復活させたかった。渡りに船でセンターがお祭りを始めたので、益々もりあげていけるようなんでも協力したい。」とおっしゃってくださる方もいて、今後も色々な展開がありそうです。

さっそく今年はステージがニヶ所になります。ゴード企画というダンスカンパニーがコーディネートする『前衛芸術ショー』が加わります。

来場者インタビュー



昨年、両方のお祭りに来てくれたアシルさん。母国、サウジアラビアのお祭りのことなど伺いました。

— お祭りに参加したきっかけは？

去年は学科の後輩が誘ってくれて、東部のお祭りに行きました。みんなの一体感に感動しました。初めての人も見よう見まねで踊り、円を一周回るところにはもう踊れている人もいてすごいなと思いました。私は映像のデザインを専攻していたのでこの風景を映像で撮りたいと思い、ドローンとカメラを持って西部のお祭りにも参加しました。

— 日本の印象は？

小学校の時から日本のアニメを見て親しみを感じていました。留学前に日本に来て、マナーや社会としての住みやすさを感じましたが、実際に留学してみてその想像を超えました。実際に人と繋がりを持ってみて、優しさや馴染みやすさを感じました。

— サウジアラビアで印象に残っているお祭りを教えてください。

イードアルフィットルというお祭りがあります。ラマダンが終わった次の日からお祝いをします。日が出る前、朝5時頃に祖父と出かけ、特別にモスクの外の空の下でお祈りをします。子供にはお菓子が配られます。家に着くと、この時のために用意した新しい服に着替え祖父のところに。みんなで集まってご飯を食べます。祖父からは、日本でいうお年玉をもらいます。もらえる人あまりもらえない人がいるんですが、私達子供の間ではお金持ちのおばちゃんの贈りがあり、いきいたい、とずっと思っていました。その後、違う親戚の家を回って祝福をします。1日では回りきれないから、このお祭りは3日間も続くんです。

復活！錦林盆踊り大会2019 info

【日時】

令和元年7月28日(日) 17:00~21:00

※盆踊りは18時から ※荒天順延

【場所】

高岸南公園

(左京東部いきいき市民活動センターより徒歩3分)

【出演】

志賀國天寿一門会

サンポーヨシ



ようせい夏まつり2019 info

【日時】

令和元年8月3日(土) ※荒天順延

○演芸大会

(バンブーステージ) 17:00~20:00

(ひょうたんステージ) 19:00~20:00

○盆踊り大会 20:00~21:00

【場所】

養正児童公園 希望の広場

(左京西部いきいき市民活動

センターより徒歩3分)

イベントレポート #2 いきいきワークショップフェスティバル

左京西部いきいき市民活動センター主催のワークショップイベントに、東部からもワークショップを持っていき参加しました。

『多文化共生について外国人と日本語で話そう』



外国人と日本人の交流の場を設けようというワークショップです。

今回は香港からの留学生の方が参加されました。会話は主に日本人の参加者から留学生の方へ質問という形で進んでいき、それぞれの国の日常的な出来事や文化について触れていたと思います。

話を聞いていると、日本人が抱くイメージと、実際の香港は違っていることも多く、こういった交流の場で認識を擦り合わせていくことの重要性を感じました。特に京都は外国人が多く住む街ですので、そういった意味でも有意義な時間だったと思います。

『へんしんコスチュームでカーニバル!』



このワークショップでは、不要になった布や段ボールなどを使って、親子で衣装作りに挑戦していました。

和やかな雰囲気です。衣装作りがスタートし、しばらくすると親御さんもお子さんも真剣な目つきに。思い思いの材料を手に取り、マーカーなどで熱心に色塗りをしていました。楽器なども用意されているので、会場は終始にぎやかです。

楽しい雰囲気に誘われて、途中から参加される親子も。最後は衣装で着飾り、楽器を手に持って教室中を練り歩きました。親御さんもお子さんも終始のびのびといたのが特に印象的だったワークショップです。

『合いの手と盆踊りの練習』



こちらは盆踊りの踊り方や合いの手のレクチャーを受けることができるワークショップです。

参加されている若い方は見よう見まねという感じでしたが、お年寄りの方々には馴染み深いものようで、一緒になって踊られる方もいれば、懐かしそうに聞いておられる方もいました。最初はチラホラと人がいる程度でしたが、実際に輪になって盆踊りが始まると徐々に人が増えていき、賑やかなお祭りの雰囲気に。太鼓の小気味良いリズムに合わせて楽しそうに踊っている方々を見ると、こちらもついつい参加したくなる魅力が盆踊りにはありますね。

こちらは盆踊りの踊り方や合いの手のレクチャーを受けることができるワークショップです。

#3 コラム 『共生を社会の力に』

昨年の政府の統計発表によると、我が国で暮らす外国籍の方の数はおよそ263万7千人で、京都府に限れば、およそ5万9千人とのこと。当センターを利用される外国人の方の人数の増加や、多様さを見ていると、京都に暮らす外国人は、出ている数字以上に身近な存在と感ずります。近年は、海外にルーツを持つ子供達を支援するグループや、ボランティアで日本語を教えるグループ、生活などの支援を在留の外国人に向けて行うグループなどの活動も活発になってきており、生活する人々が増えていることで、暮らしの中で問題を抱える人やそれを支援する人も増えているのではないかと想像しています。

先日、外国人を親に持つ子供達の学習支援をしている団体の方とお話した際に、支援する子供達の母親の多くが介護の現場で働いていることを伺いました。知り合いの会社でも数年前から外国人労働者を雇い始めました。外国からの労働力なくしては、仕事、もはや社会が回らない「現実」がすでにあるのです。少子化と高齢化が極端に進み、あらゆる場所で担い手不足に悩む昨今、外国人すなわち多文化を受け入れ、むしろそれを地域や社会の力にしていく新たな試みや、発想が不可欠な時代となっています。調和を重んじる我が国の伝統的な精神性が、言語も違う、価値観も違う異なる文化を受け入れ、前向きに新たな社会を形作ろうとする意識の源となってくれることを夢見るこの頃です。

多文化共生 info

夏以降、留学生インターンの受け入れや、「多文化共生について外国人と日本語で話そう」の発展版として、料理を食べながら交流を深め、定期的に会を開催していく予定です。



ひょうたん育成日記

2年ぶりに、錦林保育所の前でひょうたんを育てています。お祭りのシンボルとしても使用することになりそうで、間に合えばお祭りの装飾として使いたいと考えています。そんなひょうたんの成長日記です。

① まずは土づくりから。

2年前にひょうたんを育てた所に堆肥や石灰を混ぜ込み、苗の到着を待ちます。



②

たねげんで

ひょうたんの苗を購入。

入荷してすぐにゲットしました。



③

茎に土が飛び跳ねないようにゆっくりたっぷり水やり。



④

すぐに根付き、

すくすくと育っています。



⑤

自立できないほど成長したため添え木を。



⑥

棚の高さに達するまで育ちました。

摘芯をし、

棚につるを誘引していきます。

もうすぐ実がなる予定です。

お楽しみに!!



センター長 杉山 準



左京東部いきいき市民活動センター

〒606-8432 京都府京都市左京区鹿ヶ谷高岸町3-2

TEL:075-761-1385 FAX:075-752-3350

MAIL:info@se-ikiiki.com URL:http://gekken.net/SE_IKIKI/

開館時間:10時~21時(日曜日は17時まで)

休館日:火曜日・年末年始(12/29~1/4)

アクセス:京都市営地下鉄 蹴上駅より徒歩15分 バス停「東天王町」より徒歩5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは最寄りのコインパーキングをご利用ください。

発行:左京東部いきいき市民活動センター 発行日:令和元年7月1日 編集長:沢大洋 レイアウト:廣瀬信輔